

秋田県DX推進計画の進捗状況について(令和6年度)

DX戦略本部事務局

DX推進計画に掲載している取組を着実に進めるため、DX戦略本部において、毎年、進行管理を行うこととしており、令和6年度の進捗状況は次のとおりである。

1 進捗状況の概要

計画に掲載している91の取組(再掲を除く)について、KPIやロードマップ等で進捗状況を評価した結果、約9割(下記A及びB)が順調に進んでいる。

A:計画を上回る 18件(19.8%) **B:計画どおり 68件(74.7%)** **C:計画を下回る 5件(5.5%)**

分類	取組事項	R5	R6
行政			
(1) 行政手続のオンライン化	1 電子申請・届出サービスの充実	B	B
	2 建設業関係手続(許可・経営事項審査・入札契約手続)全般の電子化	B	B
	3 キャッシュレス納付の推進	C	A
	4 共通納税システムへの対応と納付書へのQRコード記載による納付環境の拡大	B	B
	5 旅券の電子申請及び手数料のクレジットカード納付の導入	B	B
(2) マイナンバーカードの普及・活用	6 マイナンバーカードの取得促進や交付事務体制充実の取組への支援	B	B
	7 運転免許証とマイナンバーカードの一体化	B	B
(3) 行政事務の効率化と働き方改革	8 RPAやAIなど先進的な技術の導入による業務改善の推進	B	B
	9 文書管理システムと財務会計システムの連携	B	B
	10 人事管理システム等の活用による異動作業等の効率化	A	A
	11 予算編成、執行管理に係るシステムの統合及び内部統制機能の搭載	B	B
	12 法制執務の一部におけるデジタル化	B	B
	13 多様な働き方に対応した環境整備	A	A
	14 タブレット式認知機能検査システムの導入	B	B
	15 文書管理システムの導入による業務の効率化	B	B
(4) 情報システムの最適化	16 庁内情報システムの最適化	B	B
	17 基幹県税システムの他自治体との共同利用及びクラウド化	B	B
	18 予算編成、執行管理に係るシステムの統合及び内部統制機能の搭載	B	B
	19 河川・道路・下水道施設等の効率的な管理システムの構築	B	B
	20 漁港施設点検システムの導入による業務効率化	B	B
	21 セグメント配信・プッシュ通知の導入による情報発信の最適化	B	B
(5) オープンデータ化の推進	22 オープンデータの公開の推進	A	A
	23 都市計画基礎調査のオープンデータ化	B	B

分類	取組事項	R5	R6
行政			
(6) 市町村のデジタル化の推進	24 県及び市町村が共同利用する情報セキュリティクラウドの運用	B	B
	25 市町村の基幹系業務システムの標準化及び導入支援	B	B
産業			
(1) 産業の生産性向上と競争力強化	26 製造業や商業・サービス業等におけるIoT等のデジタル技術の導入による生産性向上や新事業創出等の取組への支援	B	B
	27 実証プロジェクトの実践によるDXの先事例の創出	B	B
	28 デジタル化実践事例の横展開	B	B
	29 企業のデジタルリテラシー向上への支援	B	B
	30 デジタル化やDXを推進するデジタル牽引企業の創出	B	C
	31 企業誘致の促進によるデジタル需要の受注拡大とデジタル人材の雇用確保	A	A
	32 県制度融資の機関間におけるデジタル化の推進	B	B
	33 製造業のDXを3D設計開発技術等で支える人材の育成	B	B
	34 医療福祉・ヘルスケア分野のオンラインビジネスマッチングプラットフォーム構築	A	A
	35 ICT企業の人材確保・育成の支援	A	B
	(2) スマート農林水産業の推進	36 スマート農業を支える基盤整備の実証	B
37 多様なニーズに対応した戦略的な米生産の推進		B	B
38 次世代農業技術の研究の推進		A	A
39 漁獲情報等のICT化の推進		C	C
40 水産物オンライン販売体制強化		B	B
41 ドローンなどを活用したスマート林業の普及拡大		B	B
42 スマート園芸技術の普及拡大		B	B
43 畜産分野におけるスマート農業技術の普及拡大		-	B
44 気象災害を受けない果樹産地づくり		-	B

【評価基準】

- A: 目標数値を超える場合またはロードマップよりも進んでいる場合
- B: 目標数値の100%~80%またはロードマップのとおりに進んでいる場合
- C: 目標数値の80%未満またはロードマップよりも遅れている場合

分類	取組事項		R5	R6
産業				
(3) デジタル技術を活用した観光施策の推進	45	観光におけるデジタルマーケティングの推進	B	A
	46	デジタル技術を活用した観光エリアの収益性向上支援	B	C
	47	観光地点等パラメータ調査のデジタル化	B	A
	48	デジタル技術を活用した観光受入体制の整備	-	B
	49	新県立体育館におけるデジタル技術の導入	-	B
(4) ICT建設工事の拡大	50	ICT活用等による県内企業の効率性・安全性の向上	B	B
くらし				
(1) デジタル技術を活用した医療・福祉の推進	51	医療のデジタル化の推進	B	B
	52	医療ネットワークの推進	C	B
	53	急性期疾患に対する遠隔画像診療ネットワークの構築に向けた支援	C	C
	54	ICTを活用した健(検)診予約システムの全県展開	B	B
	55	介護職員の負担軽減や業務効率化に資するロボット・ICT導入への支援	A	A
	56	医療的ケア児支援に資する情報共有ツール構築への支援	B	B
	57	医療扶助のオンライン資格確認の導入	B	B
	58	福祉相談業務支援システムの導入	B	B
	59	介護保険業務のオンライン化及びAIを活用したFAQ検索システムの構築	B	B
(2) デジタル技術の活用による地域公共交通の利便性向上	60	バスロケーションシステムやAIオンデマンドタクシーの導入など利便性の向上と利用の拡大に向けた取組への支援	B	A
(3) 防災情報の充実・高度化	61	総合防災情報システムの更新・整備	B	B
	62	河川・道路・港湾に関する防災・災害情報の充実・高度化	B	B
	63	ツキノワグマ等出没情報の配信	-	B
(4) 教育のICT化の推進	64	ICTの活用による秋田の探究型授業の質的な改善	B	B
	65	広域的な職場体験・インターンシップや県内企業について学ぶことができるウェブサイトの管理・運営	B	B
	66	地域資源とICTを活用した「キャリア設計e-ミーティング」の実施	A	A
	67	デジタル探究コースの設置や専門人材を活用した教育の推進によるデジタル人材の育成	B	A
	68	ICTの活用による質の高い授業の実施	A	A

分類	取組事項		R5	R6
くらし				
(4) 教育のICT化の推進	69	オンライン式即興型英語ディベート交流会 (e-Debate 交流会) の実施	A	B
	70	児童生徒の利用を対象としたネットパトロール及びインターネット健全利用の啓発	B	B
	71	ICTの活用による障害の状態や特性等に応じた学びの充実	B	B
	72	ICTの活用による校務の効率化	A	B
	73	DX推進に資する分野を超えた連携研究や先導的人材の育成に対する支援	A	A
	74	ICTを活用した高校入試手続きの効率化・省力化	-	B
	75	統合型校務支援システムの共同調達・共同開発	-	B
(5) オンラインを活用した文化芸術の推進	76	オンライン等の活用による秋田の文化の魅力発信強化	A	B
	77	美術館・博物館等におけるデジタルコンテンツの充実	B	B
(6) AIの活用等による地域振興	78	オンラインを活用した大学生等への情報発信	B	B
	79	オンラインを活用したセミナー等の開催	B	B
	80	メタバースの活用等による地方移住関心層等に対するアプローチの強化	B	A
	81	デジタル技術を活用した動物愛護及び管理の推進	C	A
環境基盤				
(1) デジタル人材の確保・育成	82	DX推進アドバイザーの活用	B	B
	83	DX推進のための若手職員ワーキンググループ	B	B
	84	庁内におけるデジタル人材の育成	A	A
(2) DXを支える情報関連産業の振興	85	“デジタル化の地産地消”に向けた県内企業と県内ICT企業のマッチング支援	B	B
(3) デジタルインフラの整備促進	86	携帯電話不感地域の解消	B	B
	87	ラジオ放送不感地域の解消	B	B
	88	5G等新たな情報通信基盤の整備の推進	B	B
(4) デジタルデバイド対策の推進	89	スマートフォン操作体験会等の実施	C	C
	90	県民がデジタルを身近に感じ触れることができる機会の提供	B	B
	91	学術研究機関等との連携によるヒューマンインタフェースの研究開発の推進	B	B

2 主な取組の進捗状況

【行政】～ デジタル・ガバメント ～

(1) 行政手続のオンライン化

1 電子申請・届出サービスの充実（企画振興部）

【R6計画】 ・行政手続の電子化率 R6：90%	【進捗】 ・電子化率 R6：80.9% (R7.3時点) ・R6年12月より新システムに移行	【評価】 B
【今後の取組等】 ・操作研修を実施することで、提供する手続を拡大していく。		

3 キャッシュレス納付の推進（出納局・企画振興部）

【R6計画】 ・キャッシュレス納付が可能な手数料等の割合 R6：50%	【進捗】 ・手数料等の割合 R6：60% (R7.3時点) ・本庁舎、警察本部、各地域振興局、指定管理施設等、66施設にキャッシュレス決済端末を新規に設置。	【評価】 A
【今後の取組等】 ・納入通知書により納付される手続きのキャッシュレス化を行う。 ・窓口キャッシュレス納付の周知啓発を行い、県民の認知度の向上を図る。		

(2) マイナンバーカードの普及・活用

6 マイナンバーカードの取得促進や交付事務体制充実の取組への支援（企画振興部）

【R6計画】 ・マイナンバーカード交付率 R6：100%	【進捗】 ・交付率 R6：90.8% (R7.3時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・マイナンバーカードの更なる普及を図るため、高齢者施設や個人宅等に出向いての申請受付など、申請に係る丁寧なサポートのほか、土日夜間の開庁、会計年度任用職員の任用などにより交付体制を確保する取組を引き続き実施するよう市町村へ働きかけていく。		

7 運転免許証とマイナンバーカードの一体化（警察本部）

【R6計画】 ・機器・ソフトウェアの調達のほか、既存システムの改修を進める。	【進捗】 ・機器の整備は完了し、システム改修及び動作確認を実施	【評価】 B
【今後の取組等】 ・システム改修後の動作確認を実施するとともに、警察庁及び自治体との連携を強化し、県民に対する広報の充実を図る。		

(3) 業務の効率化と働き方改革

13 多様な働き方に対応した環境整備（総務部、企画振興部）

【R6計画】 ・テレワーク利用可能者数 R6：希望する職員	【進捗】 ・利用可能者数 R6：1,512人 (R7.3時点) ※知事部局（公営企業除く）のみ	【評価】 A
【今後の取組等】 ・コラボレーションツールの本格導入と利用を定着させるための職員研修等の活動を実施し、テレワークしやすい環境の整備と更なる利用拡大を図る。		

(4) 情報システムの最適化

16 庁内情報システムの最適化（企画振興部）

【R6計画】 ・システムの個別ヒアリングを継続し、クラウドへの移行を推進する。 ・業務量調査で可視化したデータを活用した職員実践研修の実施	【進捗】 ・庁内情報システムの更新・改修について、デジタル化関連事業計画評価により、最適化に向けた助言を行った。 ・DXアドバイザーや伴走型マッチング支援の活用を促した。	【評価】 B
【今後の取組等】 ・対象システムの検討状況を把握した上で、定期的なモニタリングを行い、検討が不十分な対象システムなどにおいて必要な対応ができるよう支援していく。		

(5) オープンデータ化の推進

22 オープンデータの公開の推進（企画振興部）

【R6計画】 ・オープンデータ化した県有データ数【累積】 R6：175件	【進捗】 ・オープンデータ数【累積】 R6：241件 (R7.3時点)	【評価】 A
【今後の取組等】 ・公開候補一覧を継続提供することで、デジタル化リーダーの負荷を軽減し、自律的な活動推進に貢献する。		

(6) 市町村のデジタル化の推進

24 県及び市町村が共同利用する情報セキュリティクラウドの運用（企画振興部）

【R6計画】 ・ガバメントクラウドの経費負担について、市町村、関係者等と協議を進める。	【進捗】 ・様々なネットワークの脅威への対応、安定的な稼働のため、共同利用している自治体や関係者等と協議しながら運用を進めた。	【評価】 B
【今後の取組等】 ・更新の方向性や調達に係る対応方針について、共同利用している自治体や関係者等と検討を行う。		

【産業】 ～ 県内産業のDX ～

(1) 産業の生産性向上と競争力強化

27 実証プロジェクトの実践によるDXの先行事例の創出（産業労働部）

【R6計画】 ・実証プロジェクトの創出数〔累計〕 R6:9件	【進捗】 ・創出数 R6:8件 (R7.3時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・実証プロジェクトは終了したが、企業の競争力強化を支援し、優良事例の創出を図っていく。		

31 企業誘致の促進によるデジタル需要の受注拡大とデジタル人材の雇用確保（産業労働部）

【R6計画】 ・情報関連産業立地促進事業新規指定企業数 R6:2社	【進捗】 ・企業数 R6:4社 (R7.3時点)	【評価】 A
【今後の取組等】 ・他事業によるインターンシップの実施支援、大学生等との接触機会創出等によりサポートを行う。 ・県内全域のサテライトオフィス等を活用しながら、スモールスタートを促すなど、県全体へのICT関連企業の立地を促進する。		

(2) スマート農林水産業の推進

37 多様なニーズに対応した戦略的な米生産の推進（農林水産部）

【R6計画】 ・スマート農機による省力効果や、収量マップと可変施肥の組み合わせ技術の検証を進める。	【進捗】 ・ロボット田植機の同時作業による省力・省人効果や、収量コンバインによる収量ムラ等の把握と翌年の可変施肥について検証した（北秋田管内、農業試験場）。	【評価】 B
【今後の取組等】 ・ロボット田植機の同時作業による省力・省人効果の検証は令和6年度で終了。		

44 気象災害を受けない果樹産地づくり(農林水産部)

【R6計画】 ・システム開発 ・システム活用に向けた体制整備	【進捗】 ・発芽開花プログラムは、りんご・日本なし各11地点、おうとう2地点で試験運用 ・低温情報システムは、情報を直接生産者に発信する仕組みを構築	【評価】 B
【今後の取組等】 ・発芽開花プログラムは、予想地域を拡大し、低温情報システムは、テスト運用の結果をシステムに反映させて精度の向上を図る。 ・生産者が使いやすいよう改良を加えた上で、令和8年度に本格運用に向けた周知活動を行い、災害等の未然防止対策につなげる。		

(3) デジタル技術を活用した観光施策の推進

45 観光におけるデジタルマーケティングの推進（観光文化スポーツ部）

【R6計画】 ・県が構築する観光デジタル情報プラットフォームへの参加事業者数 R6:75事業者 ・秋田県公式観光サイト「アキタファン」のページビュー数 R6:174万PV ・延べ宿泊者数 R6:3,700千人泊	【進捗】 ・参加事業者数 R6:92事業者 ・ページビュー数 R6:300万PV ・延べ宿泊者数 R6:2,999千人泊	【評価】 A
【今後の取組等】 ・秋田県観光DMPについては、参加宿泊事業者の協力を得るなどしてデータの質と量の充実を図るとともに、事業者を対象にした分析結果の活用促進に向けた研修や、DMOと連携した観光地域づくりのレベルアップに係る事業を行う。 ・東北観光DMPについては、施策へのさらなる活用を目指す。 ・デジタルプロモーションについては、配信先を絞って効率的にプロモーションを行い、さらなるページビュー数増加を目指す。		

(4) ICT建設工事の拡大

50 ICT活用等による県内企業の効率性・安全性の向上（建設部）

【R6計画】 ・ICT活用工事の実施件数 R6:60件	【進捗】 ・実施件数 R6:51件 (R7.3時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・令和7年度から開始する「インフラDX推進事業」を幅広く周知するほか、ICT活用工事の指導、小規模工事向け手引き作成・周知により「ICT活用工事」拡大を図る。		

【くらし】～ デジタル社会 ～

(1) デジタル技術を活用した医療・福祉の推進

55 介護職員の負担軽減や業務効率化に資するロボット・ICT導入への支援（健康福祉部）

【R6計画】 ・介護ロボット等導入推進支援事業活用事業所数〔累計〕 R6：284事業所	【進捗】 ・活用事業所数〔累計〕 R6：353事業所	【評価】 A
【今後の取組等】 ・介護ロボット・ICTの導入経費に対し助成を行い、介護現場の生産性向上を促進する。 ・引き続きサポートセンターにより相談対応や伴走支援を行い、事業所の生産性向上に向けた取組を支援する。		

(4) 教育のICT化の推進

68 ICTの活用による質の高い授業の実施（教育庁）

【R6計画】 ・プログラミング等のデジタル技術について意欲的に学んでいる生徒の割合 R6：69%	【進捗】 ・意欲的に学んでいる生徒の割合 R6：93% (R7.3時点)	【評価】 A
【今後の取組等】 ・高校教育課主催の教員研修への積極的な参加を呼びかけるほか、学校訪問時の研究授業及び協議会において、校内研修の優れた事例を紹介し、ICT活用の促進を図る。		

(2) デジタル技術の活用による地域公共交通の利便性向上

60 バスロケーションシステムやAIオンデマンドタクシーの導入など利便性の向上と利用の拡大に向けた取組への支援（観光文化スポーツ部）

【R6計画】 ・地域公共交通のオープンデータ化に取り組む交通事業者数 R6：22事業者 ・バスロケ・AIオンデマンドなどデジタル技術を活用した利便性の向上に取り組む交通事業者数 R6：8事業者	【進捗】 ・オープンデータ化に取り組む交通事業者数 R6：20事業者 ・デジタル技術を活用した利便性の向上に取り組む交通事業者数 R6：9事業者	【評価】 A
【今後の取組等】 ・県や市町村で開催する地域公共交通活性化協議会などを活用して、オープンデータの作成・更新を呼びかける。 ・デジタル技術を活用した地域公共交通の活性化を図る取組を支援していく。		

(5) オンラインを活用した文化芸術の推進

77 美術館・博物館等におけるデジタルコンテンツの充実（教育庁）

【R6計画】 ・近代美術館メタバースのコンテンツの充実を図るとともに、他の県立博物館施設と運用実績やノウハウを共有する。 ・市町村や民間の博物館施設も含め、所蔵資料のデジタル化などコンテンツの共有と利用促進を図る。	【進捗】 ・仮想近代美術館「メタバース×キンビ」のサービスを開始 ・近代美術館ウェブサイトのリニューアル ・デジタルアーカイブについて、県内博物館施設が参加できるシステムスキームを構築	【評価】 B
【今後の取組等】 ・「メタバース×キンビ」のコンテンツ充実と利用者のアクセシビリティ向上、業務効率化を図りつつ、モデルプログラムなどを示しながら、学校での鑑賞学習への活用促進にも注力していく。 ・デジタルアーカイブは、本県文化資源の継承と活用促進、地域社会の活性化を目的とし、県内の博物館施設の参加による基盤システム「あきたMuseumデジタルアーカイブシステム」を令和7年度文化庁補助事業により構築する。		

(3) 防災情報の充実・高度化

62 河川・道路・港湾に関する防災・災害情報の充実・高度化（建設部）

【R6計画】 ・河川水位等のメール配信サービスの登録者増加に向けた広報等 ・港湾施設におけるドローン活用における操作技術の習熟	【進捗】 ・除雪稼働管理システムの本格運用 ・道路情報表示板の遠隔操作システムの運用開始 ・河川情報システムはR6年5月より秋田県公式LINEでの配信を開始 ・港湾内の漂着物被害、日常点検にドローンを活用	【評価】 B
【今後の取組等】 ・三次元データを活用したマシンガイダンス導入による春山除雪の試験実施 ・秋田県公式LINEと連携した、河川情報等の通知サービスの利用促進 ・災害時の情報収集等を効果的に運用できるよう、日々の施設点検等にドローンを使用し操作技術の習熟を図る。		

(6) AIの活用等による地域振興

81 デジタル技術を活用した動物愛護及び管理の推進（生活環境部）

【R6計画】 ・動物愛護センター公式ウェブサイトのページビュー数 R6：33,000PV	【進捗】 ・公式ウェブサイトのページビュー数 R6：83,858PV	【評価】 A
【今後の取組等】 ・普及啓発の講習会や研修会等をリモート配信により実施する。 ・飼養管理システムについて、操作方法を習得し、職員自身による改修や蓄積データの集計など、有効に活用していく。		

【環境基盤】

(1) デジタル人材の確保・育成

84 庁内におけるデジタル人材の育成（企画振興部）

【R6計画】 ・庁内等デジタル人材育成研修受講者数〔累積〕 R6：1,200人	【進捗】 ・研修受講者数 R6：1,331人（R7.3時点）	【評価】 A
【今後の取組等】 ・引き続き研修を実施し、庁内のDX知識の底上げを行う。 ・研修後の各所属でのDX普及状況の確認などの把握を行う。		

(2) デジタルインフラの整備促進

88 5G等新たな情報通信基盤の整備の推進（企画振興部）

【R6計画】 ・5Gの早期整備に対する国や通信事業者への働きかけ	【進捗】 ・5G等高速通信基盤の整備の促進について、国及び通信事業者に要望した。 ・5Gの人口カバー率（R6.3末時点） 秋田県93.7% 全国98.1%	【評価】 B
【今後の取組等】 ・県内全域への高速通信基盤整備が早期に実現するよう、引き続き国や通信事業者に働きかけていく。		

(3) デジタルデバイス対策の推進

89 スマートフォン操作体験会等の実施（企画振興部）

【R6計画】 ・スマートフォン操作体験会の参加者数 R6：1,800人	【進捗】 ・体験会の参加者数 R6：1,032人（R7.3時点）	【評価】 C
【今後の取組等】 ・学生を講師とした相談会等、需要の高い形式の開催回数を増やす。 ・市町村等のイベントと組み合わせた開催を検討する。		

90 県民がデジタルに身近に触れることができる機会の提供（企画振興部）

【R6計画】 ・体験型イベントを、デジタル月間である10月に県内3か所で開催	【進捗】 ・秋田市、横手市、大館市でイベントを開催し計4,135人が来場	【評価】 B
【今後の取組等】 ・市町村等と連携し、より多くの県民がイベントに参加できるような開催方法を検討する。		

「多様な働き方に対応した環境整備」 における取組と成果について

多様な働き方に対応した環境整備に向けた取組

アナログコミュニケーションが主体な県庁の働き方に対し、快適で生産性の高い業務環境へ変革するためコラボレーションツール「Google Workspace」を導入

【Before】アナログコミュニケーション (対面・紙・電話)

業務環境へのアクセスは
職場PCのみ



- ▶出張先や移動中は資料確認・修正ができない

打合せは
対面・紙が原則



- ▶資料印刷等の煩雑な事前準備
- ▶在宅勤務の障害

連絡は
固定電話が中心



- ▶電話応答による作業の中断
- ▶口頭による曖昧な情報伝達

コラボレーションツール導入による効果

業務スタイルの変化による生産性の向上、場所や時間にとらわれない快適な業務環境を実現

【After】 オンライン・非同期コミュニケーション (WEB会議・チャット・ペーパーレス)

マルチデバイスによる 業務環境アクセス



- ▶出張先や現場など、様々な場面から業務を実施。作業時間を創出

ハイブリッド (WEB・対面) ペーパーレスを原則とする 会議スタイル



- ▶印刷コストの削減、テレワークの促進。出先からのオンライン参加を実現

チャットを中心とする 非同期・テキストベースの コミュニケーション



- ▶情報伝達の質・速度の向上
意思決定の迅速化

成果及び今後の展開

作業時間の短縮や部署連携事業の活発化などの成果。
今後は、各種規定・マニュアルを学習したAIの導入等の新機能を順次展開。

成果

01 共同編集による冗長作業の圧縮

資料作成や会議録作成に要する時間を短縮（議事録作成：30分→5分）

02 WEB会議を主体としたコミュニケーションによる移動・準備時間の短縮

オンラインによる市町村ヒアリング（1団体：180分→60分）

03 コミュニケーション活性化による部署連携の促進

全庁から知識やノウハウを持ち寄った「働き方ルール」の策定

今後の展開

01 各種規定・マニュアルを学習したAIの実装による更なる生産性向上

02 外部ユーザーとの接続による多様な主体との連携

03 フォームによる意見集約&オンライン対話 +AIによるブロードリスニングの実現